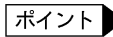


算数 学習相談		学研教育情報資料センター
		小 / 算数 / 5年 / 数と計算 / 整数と小数 / 理解シート

商の見積もり(見当づけ)は、なぜするの



商の見積もり(見当づけ)は、くわしい計算の答えがおおよそどれくらいになるかを見当づける計算なんだよ。



商の見積もりで求めた商とくわしい商の、けた数が同じで、上から1~2けたの数字が同じであれば、見積もった商は、ほぼ正しかったといえます。



21654÷802の、見積もった商(見当をつけた商)とくわしい商をくらべましょう。

① 見積もった商(見当をつけた商)

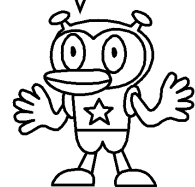
上から1けたの概数^{がいうすう}→~~21654~~→20000, ~~802~~→800

$$21654 \div 802 \rightarrow 20000 \div 800 = 25$$

② 21654÷802の筆算をします。

						2	7	
8	0	2)	2	1	6	5	4
				1	6	0	4	
					5	6	1	4
					5	6	1	4
								0

216は802より小さいから、商は十の位に立つんだ。



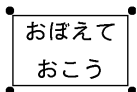
③ 見積もった商とくわしい商を比べます。

2	5
2	7

けた数は同じで、上から1けためまでは同じ。

→25と27の差は

小さい。25としたのは、ほぼ正しかったといえます。



商の見積もりをすると、くわしい計算の商(答え)のまちがいが少なくなります。